

令和3年度豊中市PTA連合協議会・第6回役員会

Think Different 2021

～夢を叶える、未来のために今できることにチャレンジしよう！～

10月20日（水）19時～@教育センター

次第

（進行：社会教育課）

1. 会長あいさつ 吉田会長
2. 人権教育推進委員協議会（以下：人権協）の説明（意見交換） 青木人権協会会長
3. 各ブロックより報告
 - 小学校北部ブロック 水野ブロック長
 - 小学校東部ブロック 内村ブロック長
 - 小学校中部ブロック 仙崎ブロック長
 - 小学校南部ブロック 瀧川ブロック長
 - 中学校北部ブロック 森ブロック長
 - 中学校南部ブロック 柴副ブロック長
 - 副会長会 竹田委員長
4. 教育委員会より報告 道上教育監
5. 議題案件
 - ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案
 - ・大阪府PTA協議会の団体（単P）表彰
 - ・2/5（土）PTA大会の概要
6. その他
 - ・役員から質疑応答
 - ・事務局から連絡
 - ・次回開催日程の確認 月 日（ ）19時～教育センター
7. 閉会あいさつ 会長代行

PTAもそうだろう。スマホやPCから匿名でああだこうだやっても始まらない。実際に否定されてもいいからPTAを楽しく運営するのがいいわけじゃないか。 N.YOSHIDA

スケートでもそうだろう。自分の部屋でああだこうだやっても上手にならない。実際に転んでもいいから氷の上で滑ることがいいわけじゃないか。 E.YAZAWA

豊中市 PTA 連合協議会・第6回役員会 議事概要

開催日時：10月20日（水）19時～21時15分

開催場所：教育センター研修室

出席者：〈豊中市PTA連合協議会〉（以下、「連P」という）

吉田会長（庄内さくら）、仙崎会長代行（豊島）、
足立書記（東豊中）、伊関会計（桜塚）、中尾広報委員長（島田）、
瀧川広報副委員長（野田）、竹田副会長会委員長（16中）、
山本副会長会副委員長（15中）、後藤生活安全委員長（13中）、
水野生活安全副委員長（刀根山）、森副会長（8中）、
西田顧問（桜井谷）

〈豊中市教育委員会〉

道上教育監、小野事務局長、大澤社会教育課長、佐々本主査

〈豊中市人権教育推進委員協議会〉（以下、「人権協」という）

青木人権協会長

○次第

1. 会長あいさつ

吉田会長から、来年度の単P役員決めに苦慮されている時期だと思うが、庄内さくらから学園PTAで新しく取り入れたアンケート方式での役員決めが好評であったため、今後、副会長会等で事例発表を行いたい旨、挨拶があった。

2. 人権教育推進委員協議会（以下：人権協）の説明（意見交換）

中尾広報委員長から、時代の変化により、PTAを取り巻く環境が難しくなっている上に、外部団体（人権協・公民分館・社会福祉協議会・健全育成会）へのあて職的に行われる行事や会議等への出席依頼が一番の負担である旨、発言があった。

併せて、その外部団体との関わり方を見直したく、今回は人権協に質問をさせていただきたい旨、発言があった。

青木人権協会長から、中尾広報委員長の各質問について、以下のとおり回答があった。

①人権の発足理由と会の意味

回答：豊中市民による他市への身元調査依頼が出発点で、原田神社宮司氏他40人が「大人にも人権教育が大事である」と立ち上がり、賛同者の輪が広がり1970年に「人権協」が結成された。

人権課題をとおして、自分を見つめ直し自己研鑽を深める、そうだと思えば他者にも伝え人権尊重の輪を広げる、それが人権協である。

②PTAに対して求めている事

回答：人権協発足当初は地域のボランティア様が担っていたが、「大人にも人権

教育が大事である」というテーマ設定から、青少年問題協議会を通じて、PTAへの人権協への関わりを要請したと聞いている。その後、地域やPTA組織から人権協への推進委員登録が始まり、50年の歴史を積み重ねる中で、PTA中心の登録となっている。

人権協の総会・講座・市民の集い、校区の地区委員会・研修会に参加いただいている中で人とのつながりを広げ、ともに生き合う関係を育む取り組みが人権協の活動だと考えている。

③組織の現調と組織図

回答：人権協の組織図は役員会―常任委員―地区委員会となる。例えば「庄内さくら学園中校区」では、常任委員のもとに、庄内地区委員会・野田地区委員会・島田地区委員会・庄内さくら学園中地区委員会が位置する。その地区委員会には、地区代表委員が二人いて、多くのPTAではその年のPTA役員から選出され、毎年引継ぎの円滑さのため前年度に一人、その年に一人というふうを選出されると聞いている。

常任委員は、中学校区から選出されるので、その中学校区ごとのルールが作られて小学校区の輪番制で選出されているところが多いと聞いている。校区によっては、再任を重ねられる常任委員もおられる。

④なぜPTAから選出する地域が多いのか

回答：②で回答しているとおりで、地区委員会の研修の場に子育てを終えた先輩推進員の方々が参加されることもある。

⑤今後単P会長として自地域の人権協に対する意見の窓口（担当者）を決めてほしい

回答：「役員会後の懇談で回答」連Pの事務局を社会教育課（担当：佐々本）が担っているのと同様に、人権協の事務局を社会教育課（担当：島津・丸谷）が担っている。

⑥PTA役員は小中学校の子どもがいる親なので、まず家庭があり、学校PTAの行事があり、その次に外部団体がある。なかなか人権の活動を前向きにできる人は少ないが、どうすれば良いか？

回答：一番大事なのはPTA活動で、それを犠牲にしてまで人権協の活動をお願いするわけではなく、できるところでその任を引き受けていただくことで今日まで取り組んで来た。講座や研修もお仕事を休んで参加される委員の方々が多く、強制ではないが、自己研鑽の受け止めで参加されて来られたのだと思いたい。今後ご協力をお願いしたい。

西田顧問から、人権協の校区活動でPTAに委員を要請された経緯、立ち上げの思

いは理解したが、それから50年の経過があり、時代状況の変化がある。家族の在り方等が大きく違ってきているので、委員の選出のあり方や「あて職」で「強制」という雰囲気はなくしていただきたい旨、質問があった。

青木人権協会長から、人権協の規定にあるように、「人権協の目的に賛同し、その活動に協力する者で組織」できることが理想であるが、頂いた意見の内容について人権協役員会で協議したい旨、回答があった。

仙崎会長代行から、「なぜ、人権協なのか」説明の機会がほしい。それを受けて委員選出を受け継いで行けるような取り組みにしていかなないと続かない。50年の歴史があるからこそ、今の時代にあわせて継続していけるような取り組みにしていってほしい。そのためにも、PTA活動スタート時に「なぜ、人権協活動をすすめていくのか、PTAの力がほしい」という説明が必要である旨、発言があった。

青木人権協会長から、コロナ禍で学校との関係を構築する場が取れなかった。それまでは、地区代表者会議や地区委員会で参与（学校長）を含めた説明を図ってきた。丁寧な説明の取り組みの必要性を再認識している旨、発言があった。

伊関会計から、単P会長として自地域の人権協に対する意見の窓口（担当者）を決めてほしい旨、質問があった。

（役員会後の懇談で事務局が回答）先ほど述べたとおり、連Pの事務局を社会教育課（担当：佐々本）が担っているのと同様に、人権協の事務局を社会教育課（担当：島津・丸谷）が担っている。

3. 各ブロックより報告

足立書記・小学校東部副ブロック長から、ブロック研究大会として1月22日（土）にオンラインセミナーを実施する。小学校ブロック再編について、「沿線ごと」案を支持する旨、報告があった。

仙崎会長代行・小学校中部ブロック長から、10月～12月に半数の単Pがイベント開催を予定している。学校備品（扇風機等）の修繕費用をPTA予算での捻出等の話が出ている単Pがある旨、報告があった。

小野事務局長から、学校施設や学校備品の購入・修繕に関する費用は公費で賄うのが原則である旨、発言があった。

吉田会長から、この件に関して校長会議で通達いただいたが、その後も芝刈り機や学校図書等をPTA予算で捻出する計画の話をも単Pから聞いているので、校長先生の認識に誤解があるかもしれない旨、発言があった。

道上教育監から、9月の校長会議で強く通達した矢先だったので、大変驚いている。意見を頂いた対象の学校とPTAとの状況や関係性（寄贈なのか・PTAの好意なのか・学校の依頼なのか）を精査して、個別に対応・改善していきたい。今後の校長会議でも再周知していきたい旨、発言があった。

水野生活安全副委員長から、ほとんどの単P役員は任期が1年でメンバーが代わる

ので、公費で購入する学校備品とPTA予算に関わる物とのガイドライン的なものがほしい旨、発言があった。

小野事務局長から、学校施設に関わる備品や修繕は公費で行うべきである。このことを学校関係者と改めて共通認識したい旨、発言があった。

後藤生活安全委員長から、ブロック内の単P予算で学校トイレの清掃を業者委託しているが、予算の執行について質問があった。

小野事務局長から、本来公費で行うべきであり申し訳なく思っている。次年度の予算確保をめざしたい。引き続きトイレ改修も含めて努力したい旨、発言があった。

吉田会長から、予算取りや工事に関して教育委員会だけで執行できないことは理解しているが、予算が決まれば、その予算内で各校のPTAが業者選定し、各校がしたい時期にトイレ清掃・改修ができるようにならないか、市に任すと中々順番が回って来ず、PTA活動が忙しい時期に突然実行されたり年度末ギリギリに実行されたりしても全く意味がないので、との質問があった。

小野事務局長から、公金の執行ということで、市のルールに則って工事発注する流れになる。スピード感をもって対応したい旨、回答があった。

竹田副会長会委員長から、11月11日（木）10時から教育センターに集まって情報交換会を開催する。前半は研修室に集まって事例発表を行う。後半は小中学校別で情報交換を行う。前半の事例発表いただける単Pを探している旨、報告があった。

（役員会後に豊島小・桜塚小・13中・庄内さくら学園が事例発表することとなった）

併せて、参加予定者数が少ないので、今後は全体で集まらずにブロック内で副会長の情報交換をできる場の設定を検討している旨、報告があった。

4. 教育委員会より報告

道上教育監から、以下の内容について報告があった。

- ・10月1日から緊急事態宣言が解除になっているが、学校生活での感染症対策は今後も緩めることはなく、徹底させたい。
- ・運動会や宿泊を伴う行事等の開催について、教育委員会から開催の方向性を示しているが、学校によって計画を立てる時期・開催日・感染者状況・児童生徒数等が異なるので、どうしても学校によって開催の可否が生じる。

伊関会計から、今後のPTA行事の開催について質問があった。

道上教育監から、単P行事の開催についてはPTAと学校長で判断するものであるが、学校から相談を受ければ教育委員会として、感染症対策の徹底方法や代替行事の発信方法等についてアドバイスする旨、回答があった。

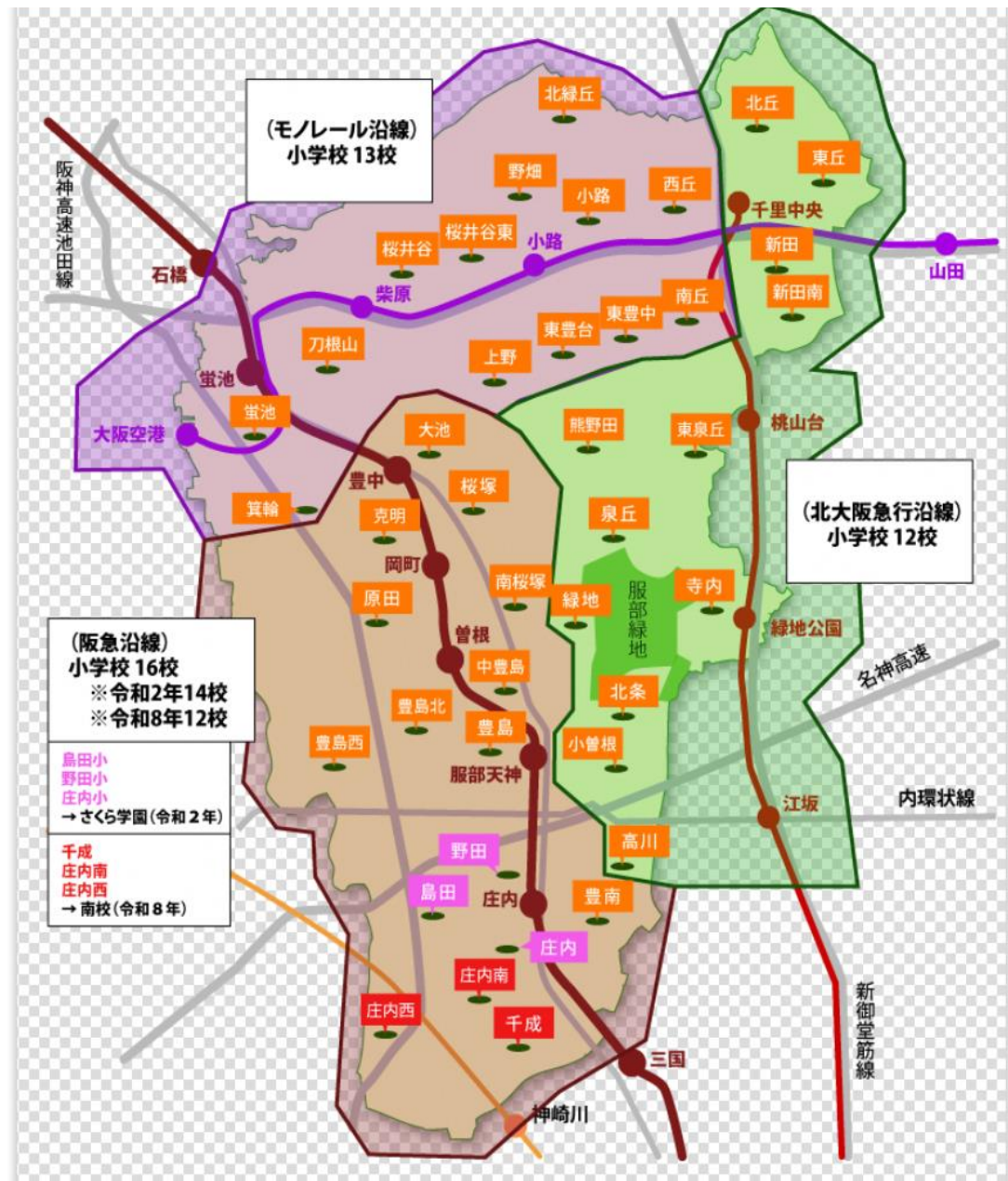
5. 議題案件

- ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案

吉田会長から、2年後に実施するブロックの再編で、小学校ブロックを3つにする分け方について下記の「沿線案」に決める提案があり、各ブロックの賛成によ

り承認された。

「沿線案」モノレール沿線（13校）北大阪急行沿線（12校）阪急沿線（16校が令和5年に14校、令和8年に12校）に分ける。



併せて、12月10日（金）に予定している中学校ブロック合同会長会で、中学校ブロックを1つにする連P案の最終承認をいただく流れである旨、発言があった。

併せて、連P役員となる正副ブロック長について、現在は輪番制だが今後は立候補制にして、連P活動に積極的な人材が役員として活躍いただきたい旨、発言があった。

・大阪府PTA協議会の団体（単P）表彰

事務局から、大阪府PTA協議会から団体（単P）表彰の文書が届き、豊中市から

小中学校4校の表彰推薦が可能で、表彰校は1月15日（土）表彰式で受賞がある旨、説明があった。

後藤生活安全委員長から、13中PTAの活動について、以下の内容のとおり報告があった。

単P内の委員会の垣根を越えて、運営メンバー全員が「輪の中心」で楽しくできないかと各プロジェクトを立ち上げ、有意義な活動を行った。

①多様な進路を見つけようプロジェクト

全生徒に興味のある職業アンケートを実施し、人気職種についてインタビュー等の動画を作成し給食時間に視聴してもらった。将来の夢や希望について考える良い機会となった。

②棚原さんの味噌作りオンライン講座

味噌作り動画を通して、子育てに関する質問会等、親子交流が深まった。

③タイムカプセルプロジェクト

3年生に3年後の自分に宛てた手紙を書いてもらい、同窓会委員とコラボして、3年後に郵送する。同窓会等の交流・懇親のきっかけ作りをした。

④ホームページ活用プロジェクト

保護者への情報を分かりやすく発信し、もれなく享受できる仕組みの再構築をした。

⑤マニュアル化プロジェクト

単P活動のマニュアル化を推し進めて、次年度以降への円滑な引継ぎをめざしている。

吉田会長から、中学校南部ブロックは推薦校がないので、13中を連Pの推薦校として決定する。次回の役員会で小学校から3校の推薦枠の選考について、正副ブロック長もしくは該当する単P会長によるプレゼンをしていただき、役員の多数決で決定する提案があり承認された。

・2/5（土）PTA大会の概要

吉田会長から、2月5日（土）PTA大会の概要について、オンラインで開催し以下のような次第で実施する提案があり承認された。

①連P会長あいさつ ②市長あいさつ ③教育長あいさつ

④PTA成功事例発表（団体・委員会・イベント・ブロック）

⑤パネルディスカッション

⑥単P正副会長によるグループワーク

6. その他

・事務局から連絡

事務局から、11月18日（木）16時から開催する市長タウンミーティング（参加者：吉田さん仙崎さん伊関さん後藤さん森さん）について、15時50分に社会教育

課に集合いただいて揃って秘書課に向かう旨、連絡があった。

併せて、連P役員の会議等出席の際に連P予算から支払われる交通費について、該当する場合は約3か月ごとに事務局に提出願いたい旨、連絡があった。

・次回開催日程

事務局から、次回役員会の開催について提案があり、11月22日（月）19時～教育センターで「第7回役員会」を開催することとした。

7. 閉会あいさつ

仙崎会長代行から、吉田会長を中心とした前年度役員の皆様の連P活動の功績により、人権協や学校備品購入の議題について早急に教育委員会から説明されるようになったと思う。今後もこの教育委員会との関係性を継続していき、連P活動の集大成であるPTA大会に向かって準備していきたい旨、挨拶があった。